

PPG PSX® 700

説明

2液性 シロキサン系塗料

特長

- 特殊で高光沢なイソシアネートを含まない塗料
- 無機ジンクに直接塗装可能
- 色相と光沢の保持力に優れている
- 落書き除去性に優れている
- ハイソリッド (高固形分)、VOC基準に適合
- 希釈せずに刷毛、ローラー又はスプレーで塗装可能
- さまざまな化学薬品のしぶきや垂れに対する耐性に優れている
- 単層での対応可能、金属に直接塗布することで中程度の腐食環境に対応可能 (ISO 12944 C1-C3)
- 報告対象となる有機HAPs は、含まれていません

色相及び光沢

- 多色調色可能
- ハイグロス (ツヤ有り)

基本データ 20°C (68°F)

混合物のデータ	
構成	2液性
密度	1.4 kg/l (11.7 lb/US gal)
固形分 (容量)	90 ± 2%
VOC (供給時)	Directive 2010/75/EU, SED: 最大 119.0 g/kg 最大 164.0 g/l (約 1.4 lb/gal) EPA Method 24: 0.7 lb/US gal (83.9 g/l)
耐熱温度 (連続的)	120°C (250°F) まで
耐熱温度 (断続的)	120°C (250°F) まで
推奨膜厚	75 - 175 µm (3.0 - 7.0 mils) / 1コート
理論塗布量	7.2 m ² /l - 125 µm (289 ft ² /US gal - 5.0 mils)
指触乾燥	2 時間
塗装インターバル	最短: 3 時間 最長: 無制限
貯蔵安定期間	基剤: 36 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合) 硬化剤: 24 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

注意点:

PPG PSX® 700

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 塗装インターバル
- 追加データ参照 - 硬化時間
- 2回塗り以上の場合、合計DFTは250 µm (10.0 mils) 以下が推奨される
- 環境温度 (高温) により変色する。

推奨素地調整 及び 被塗面温度

- 塗料の性能は下地処理の度合いに比例する

被塗面状態

- 鋼板; ISO Sa2 (SSPC SP6) 以上のグレードで、表面粗度25 - 75 µm (1.0 - 3.0 mils) に達するブラスト処理によって事前に表面調整すること
- タッチアップ及び補修の場合、SSPC SP11に沿ってパワーツール処理をしても良い
- 亜鉛めっき鋼板; 付着の可能性が考えられる亜鉛塩を除去するために、表面粗度40 - 75 µm (1.5 - 3.0 mils)に達するSSPC SP16グレードのスweepブラストで被塗面を目粗しすること
- ステンレス鋼板及び非鉄金属; グリース(潤滑油)を除去し、表面粗度40 - 100 µm (1.5 - 4.0 mils)に達するSSPC SP16グレードのスweepブラストを行うこと
- コンクリート / 石造 (れんが); 塗装システムのプライマー (下塗) 塗料を参照
- 適合する被塗面は乾燥し異物の付着がなく清浄であること。
- ケイ酸亜鉛プライマー(下塗)塗料を塗布する場合、ミストコート及びフルコートが要求される。ミストコートには15%の希釈シンナーが推奨される。
- 適合する旧塗膜は乾燥し異物の付着がなく清浄であること。同塗料の塗布前に目粗しが必要な場合がある。
- 損傷箇所は下地処理の仕様通りに処理し、正常な塗膜との境界を水平にする

被塗面温度及び塗装条件

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は0°C (32°F) より高いこと。
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より 3°C (5°F) 以上高いこと。
- 塗装中及び硬化中の相対湿度は40%から85%の間であること。

注意点:

- 環境温度が5°C (40°F)未満の場合はFD硬化剤を使用すること

使用上の注意

混合比(容量): 基剤: 硬化剤 = 4:1

- エア駆動ミキサー又は防爆電気モーターを使用する

PPG PSX® 700

可使時間

4 時間 (20°C (68°F))

注意点:

- 追加データ参照 - 可使時間
-

エアスプレー塗装

希釈シンナー

グローバル: THINNER 60-12 (AMERCOAT 911) 又は THINNER 21-06 (AMERCOAT 65)、アメリカ合衆国のみ: 90°F (32°C) を超える場合にTHINNER 21-25 (AMERCOAT 101) が推奨される

希釈率

5 - 10%、規定膜厚や塗装条件による

チップサイズ

1.5 - 2.0 mm (約 0.060 - 0.079 in)

2次圧

0.3 - 0.4 MPa (約 3 - 4 bar; 44 - 58 p.s.i.)

エアレススプレー塗装

希釈シンナー

グローバル: THINNER 60-12 (AMERCOAT 911) 又は THINNER 21-06 (AMERCOAT 65)、アメリカ合衆国のみ: 90°F (32°C) を超える場合にTHINNER 21-25 (AMERCOAT 101) が推奨される

希釈率

0 - 5%、規定膜厚や塗装条件による

チップサイズ

約 0.38 - 0.48 mm (0.015 - 0.019 in)

2次圧

20.0 MPa (約 200 bar; 2901 p.s.i.) 注意点:

PPG PSX® 700

刷毛/ローラー塗装

- 一回塗りでは推奨乾燥膜厚の形成不可
- 高質な天然刷毛及び/又は耐溶剤性の短毛ローラーを使用すること。刷毛/ローラーは空気の閉じ込めを避けるためよくしごいておく。
- エッジ等の膜厚を保つ

洗浄用シンナー

- THINNER 90-53、THINNER 90-58 (AMERCOAT 12)

追加データ

塗布量及び膜厚	
DFT	理論塗布量
75 µm (3.0 mils)	12.0 m ² /l (481 ft ² /US gal)
125 µm (5.0 mils)	7.2 m ² /l (289 ft ² /US gal)
175 µm (7.0 mils)	5.1 m ² /l (206 ft ² /US gal)

膜厚175 µm (7.0 mils) での塗装インターバル 相対湿度40%以上						
重ね塗り塗料	インターバル	0°C (32°F)	5°C (41°F)	10°C (50°F)	20°C (68°F)	30°C (86°F)
同塗料 (PSX 700)	最短	N/A	20 時間	9 時間	4.5 時間	3 時間
	最長	N/A	無制限	無制限	無制限	無制限
同塗料 (PSX 700FD)	最短	20 時間	12 時間	7 時間	3 時間	2 時間
	最長	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限

注意点:

- 被塗面は乾燥し異物等の付着がなく清浄であること。
- PSX 700を塗布してから7日以内に重ね塗りを行う場合、重ね塗り前に被塗面をPSX 700シンナーのいずれかを用いて拭くこと
- ヨーロッパ製の硬化剤で "PSX 700 FDE 硬化剤" 名称のものは、唯一の速乾性

PPG PSX® 700

標準硬化剤を使用した場合 膜厚175 µm (7.0 mils) での硬化時間 相対湿度40%以上

被塗面温度	指触乾燥	ハンドリング可能
5°C (41°F)	9 時間	24 時間
10°C (50°F)	6 時間	11 時間
20°C (68°F)	3 時間	6 時間
30°C (86°F)	1.5 時間	4 時間

FD硬化剤(速乾性)を使用した場合 膜厚175 µm (7.0 mils) での硬化時間 相対湿度40%以上

被塗面温度	指触乾燥	ハンドリング可能
0°C (32°F)	9 時間	24 時間
5°C (41°F)	7 時間	16 時間
10°C (50°F)	4.5 時間	8.5 時間
20°C (68°F)	2 時間	4.5 時間
30°C (86°F)	1 時間	3 時間

注意点:

- 塗装中及び硬化中は適切な換気を維持すること
- ヨーロッパ製の硬化剤で "PSX 700 FDE 硬化剤" 名称のものは、唯一の速乾性

可使時間 (塗装可能粘度)

混合塗料温度	可使時間
10°C (50°F)	6.5 時間
20°C (68°F)	4 時間
30°C (86°F)	1.5 時間

注意点:

- 標準硬化剤及びFD硬化剤の可使時間は同一

製品適合規格

- SSPC Paint 36 Level 3 性能
- NFPA (米国防火協会) Class A 火災拡散
- ISO 12944 C5の一部システムに適合
- NORSOK (ノルウェー標準海洋規格) M501 Rev.6 System 1 の一部システムに適合
- ANSI N5.12の要件を満たし、Coating Service Level II用のASTM D5144



PPG PSX® 700

安全予防策

- 安全性と予防措置の要件については、安全データシートと製品ラベルを参照してください。
- 本製品は溶剤型塗料のため、スプレーミストや蒸気の吸引、塗料の皮膚、眼への接触到に注意すること。

ワールドワイド対応

PPG Protective & Marine Coatings (PPGプロテクティブ&マリンコーティングス) は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

参照

- Information sheet | Explanation of product data sheets

保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様基準に準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これはPPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる種類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づきいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内にPPGに対して書面にて行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていないことを前提とします。購買者が本規定に適合しないことをPPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

賠償責任の制限

PPGは、いかなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な（過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく）損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床試験を基にしたものです。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関連する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答に関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受において行うものと見なされます。PPGは、品質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補充に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products (PPGプロテクティブ&マリンコーティングス製品) の最新データシートは、www.ppgpmc.comにて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。

